



★あじさいの色

あじさいの花が赤かったり青かったりするの、は、土壌の酸度によるもの。酸度が高いと土壌のアルミニウム成分が酸で溶け、あじさいの根から吸収され色素と化学反応し青くなります。酸度が低いとアルミニウムが吸収されないため青くなりません。同じ株でも部分によって花の色が違うのは、根から送られてくるアルミニウムの量に差があるためです。

※あじさいには毒がありますので間違っても食べたりしないよう気を付けてください。

6月と言えば梅雨。洗濯物が乾かなかつたり、壁や床が結露したり、湿気によってカビや細菌が繁殖して食中毒の危険性が高まったりと困ったことが多い季節です。とはいえ植物にとっては恵みの雨、そろそろ出始めるピーマン、きゅうり、いんげん、おくらなどの夏野菜に雨は欠かせません。また夏の渇水を乗り切るためにも梅雨時の雨は必要不可欠。雨が降るたび「これで水不足が乗り切れる。美味しい野菜が出てくる。」と思って長雨の季節を乗り越えましょう。

**食中毒に注意！**

梅雨の時期に増えてくるのは病原性大腸菌 O-157 やサルモネラ菌などによる「細菌性食中毒」です。家庭で出来る予防方法は「新鮮な食材を使う(消費期限には十分注意)」「調理前・食事前の手洗い」「包丁まな板を使いまわさない(肉や魚を切ったら熱湯消毒かアルコール消毒)」「十分な加熱、温めなおしても十分に加熱を」「調理前、調理後に長く放置しない」など、当たり前のことですが、いつもより注意して行うことが予防につながります。家族の皆さんにも注意を呼びかけてください。



基本理念

わたくしたちは、医療をととして社会に貢献いたします

医療法人社団 白金会

白金整形外科病院・白金整形外科クリニック



《特集》リハビリテーション

リハビリテーションとは

リハビリテーションの語源はラテン語で「再び適した状態になること」。現在行われているリハビリテーションも病気や外傷などで心身の機能に支障が生じたときに、その問題を解決し、家庭や社会に復帰＝再び適した状態になるよう多数の専門職種が連携して支援することをいいます。

白金会のリハビリテーションは4通り

●入院患者様のリハビリテーション

手術などで入院されている方が家庭や社会に復帰するため行います。

「リハビリテーション病院さらしな」は、これに特化した病院です。「座る」「立つ」という基本動作から訓練用の台所や和室を使つての実生活を想定したリハビリテーションまで総合的に行っています。

●外来リハビリテーション

骨折などの整形外科疾患や脳卒中などの中枢疾患、またほかの疾病によって心身に何らかの障害を持った方が日常生活に復帰するための訓練や支援を行っています。物理療法を受ける方が多くいらっしゃいます。

●訪問リハビリテーション

退院されたばかりで身体や生活に不安を抱えている方、後遺症が残るため継続したリハビリテーションが求められる方などで通院が難しい方を対象とします。自宅で行うことにより実際の生活場面で必要となる動作をより具体的に学び訓練することが出来ます。

●通所リハビリテーション

通所リハビリテーションはデイケアとも言い、日帰りでリハビリテーションを提供するサービスです。「白金整形外科クリニック2F」「介護老人保健施設リハパークきくま」で行っています。

利用者様が自立した生活を送ることを目的としますので、食事や入浴の他にリハビリテーション専門スタッフによる「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」を行います。

長期間のご利用でも飽きないようにスタッフが日々趣向を凝らしたプログラムを企画しています。

※デイサービス(通所介護)と混同されることがありますが、よりリハビリテーションに重点を置いた設備とリハビリテーション専門職を揃えた施設となっています。

※入院・外来のリハビリテーションがクリニックや病院の患者様を対象とするのに対し、訪問・通所リハビリテーションは主に介護保険のご利用者様を対象としています。

リハビリテーション専門職

リハビリテーション専門職は国家資格です。白金会には下記の資格を持った173名(5月末現在)のリハビリテーション専門職が在籍し、入院、外来、訪問、通所のリハビリテーションに力を注いでいます。



●理学療法士(PT:Physical Therapist)

「関節の痛み」「関節可動域制限」「筋力低下」「運動麻痺、感覚麻痺」「バランス障害」などの身体機能の低下に対し、運動療法・物理療法等で筋力強化や関節可動域の拡大を図り、「寝る」「起きる」「座る」「立つ」「歩く」などといった生活機能や身体機能の改善・回復を目指します。

●作業療法士(OT:Occupational Therapist)

理学療法により回復した基本的な動作をもとに「食事」「排泄」「更衣」「入浴」「整容」といった日常的な身の回りの活動や「仕事」「家事」「買い物」「人との交流」「余暇活動」といった社会的な活動を行う上で必要な能力の改善・回復を支援します。

●言語聴覚士(ST:Speech-Language-Hearing Therapist)

言語聴覚士はことばによるコミュニケーションや「注意、記憶、判断」などの脳の機能、食べたり飲んだりすることに問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援します。

当法人では言語聴覚療法を入院患者だけでなく、訪問・外来・通所リハビリテーションと幅広く提供しており、常勤の言語聴覚士が介護老人保健施設にも勤務しています。





リハスタッフに 聞いてみました



岡本 彩由美さん
リハビリテーション部／言語聴覚士
北海道出身 2014年4月入職

今回はリハビリテーション部の岡本彩由美さんにお話を伺いました。

言語聴覚士(以下ST)を志望した理由

祖父が脳梗塞で倒れたのがきっかけでしょうか、食事が摂れないことでこんなに急に年老いて行くのかと。見ていられなかったです。それで食に携わる仕事に就きたいと欲している調べていた時に母が「こんな仕事があるんだよ」と教えてくれたのがSTでした。

白金会について

大学で各地のSTについて調べることがあり、千葉県ではSTの市民向けの活動が盛んということで興味を持ちました。就職するに当たり千葉市、市原市のいろいろな施設を見学したのですが、ほとんどST一人で回している中、白金会では当時6～7名(現在16名)のSTが勤務されていたのが印象的でした。白金は多くの先輩方の経験を聞くことが出来、STとして沢山学べています。学校や教科書で学んだことはほんの一部で実際とは違い、調べるにも限界があります。みなさんに助けをいただけて仕事ができていると思います。

言語聴覚士の仕事

室内でのプリントを使ったリハビリや口や舌の筋力トレーニング、嚥下障害に対する食事介入などの他に、患者さんと外を一緒に回る事もあります。足の訓練とは別で高次脳障害の方の空間認識や注意力といった遂行機能のリハビリです。

今後の目標

いつかは北海道に戻って学んだことを活かしたいと思っています。訪問リハとか地域リハなど外に出る仕事をもう少し勉強したいので、戻るのは5年先か10年先か、まだまだ先のことだと思います。

お忙しい中、ありがとうございました。これからもがんばってください。



クリニック2Fの通りハがウッドカフェ風に模様替え！普段のデイと違った気分でティータイムが楽しめます。



「壁紙の傷みや汚れをカバーするだけのつもりだったのですが、100円均一でいいものを見つけ、壁、柱、テーブル、戸棚までと念のほか大がかりになってしまいました。」
デイの中に普段と違う一角が出来たことで利用者様にも好評のようです。

医療法人社団 白金会

- ◆白金整形外科クリニック (2F 通所リハビリ)
〒290-0059 千葉県市原市白金町 1-70
TEL : 0436-22-1435 FAX : 0436-21-8848
- ◆白金整形外科病院
〒290-0059 千葉県市原市白金町 1-75-1
TEL : 0436-22-2748 FAX : 0436-22-1436
- ◆リハビリテーション病院さらしな
〒290-0050 千葉県市原市更級 1-5-3
TEL : 0436-25-2345 FAX : 0436-20-0301
- ◆介護老人保健施設リハパークきくま
〒290-0007 千葉県市原市菊間 1136-6
TEL : 0436-40-8220
- ◆白金訪問看護ステーション
〒290-0059 千葉県市原市白金町 1-70
TEL : 0436-26-6662 FAX : 0436-26-6663
- ホームページ : <http://shirogane-hp.com>

白金会関連施設

- ◆デイサービス ベル市原
〒290-0062 千葉県市原市八幡 1018
TEL : 0436-40-9100
- ◆デイサービス ピウ八幡
〒290-0062 千葉県市原市八幡 125-1
TEL : 0436-40-3757
- ◆グループホーム ピウ八幡
〒290-0062 千葉県市原市八幡 125-1 3・4F
TEL : 0436-40-3758
- ◆グループホーム ピウあさひ五所
〒290-0063 千葉県市原市旭五所 7-1
TEL : 0436-40-1511

※お問い合わせは月曜から土曜 8:30～17:30 まで受け付けております。

■ホームページ : <http://piw-bell.com>